

2021年1月29日

学校法人平和学園  
平和学園小学校  
2020年度 学校だより 第12号  
〒253-0031  
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2  
TEL 0467-87-1662/0131  
FAX 0467-87-0411  
URL <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

# 平和の花

実を結ぶ

## 年間聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、私もその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

ヨハネによる福音書 15章5節

新型コロナウイルス感染者が世界中で1億人を超えました（2021年1月27日現在）。世界の人口が77億人だとすると、77人に1人が新型コロナウイルスに感染した計算になります。驚きと共に、新型コロナウイルス収束を願い、今私たちに出来ることを行動に移し、緊張感を持続し、感染を防ぐことに尽きます。

現在、日本でも新型コロナウイルスで仕事を失うばかりか、住む所まで失い困難な状況にある人が多くいます。その人たちを思うと胸が痛むと同時に、自分の無力さを認識します。人類が進歩したと言われている科学や医学の脆さ、無力さを痛感し、神に求めることは、人間に解決する手段と知恵を与えて欲しいと願うばかりの祈りとなります。1月8日には、一都三県に緊急非常事態宣言が出され、学校でも3学期早々新型コロナウイルスへの更なる感染防止対応をすることになりました。学校は児童の命と立場を優先で考え、対応策を考え、実行に移しています。

昨年途中より、コロナ禍が原因で、今までの常識が変わりました。その一つにマスク着用が新たな常識となり、新型コロナウイルスの脅威から感染を防ぐため、学校でもマスク着用が当たり前になりました。その他、新型コロナウイルスに対する脅威に対して、できる限りの感染防止対策を実行に移しています。学校生活も同様で、マスク着用、家庭での検温、学校到着時の検温、手洗い、消毒、換気、ソーシャルディスタンスと、今以上に適応しなければならない新しい常識を取り入れ、身に付け、実行しています。当然、忍耐が必要になりました。先生たちは新しい常識に対する平和の子どもたちの適応する能力の高さと我慢強さに感心しています。

これからの子どもたちが将来を生き抜くため、このコロナ禍での経験を活かす必要があります。コロナ期間の対策の振り返りと確認が必要です。なぜなら子どもたちが大人になったとき、どのような状況下においても、人と人との信頼関係を結び、役割を果たすことで、将来生きることが出来るからです。

情報の共有と伝達方法と共に、目的に応じた的確なコミュニケーションツール選びで人と信頼関係を結ぶことが大事です。また、相手に伝えるときに伝わりやすい、受け取りやすい表現方法を選び、使うことも大切になります。大変な時代を平和な子どもたちと共に乗り越え、生きて行きたいと思えます。

保護者のご協力を得て、今日まで無事に過ごして来られましたことを感謝いたします。これからも緊急事態に対するご協力をよろしくお願いいたします。

